

## 少年野球教室 ～憧れの先輩と地域で育む白球の夢～

白銀・南地区体育振興会で実施している「少年野球教室」について、白銀・南地区体育振興会の武部南海雄会長(左)と同前会長である白銀振興会の荒川繁信会長(右)にお話を伺いました。



### ○「白銀・南地区体育振興会」設立

**荒川会長** 大久保地区、白銀台地区、岬台地区、白銀地区の連合町内会長で話し合い、平成21年に4地区のスポーツ振興を目的に設立しました。

### ○「少年野球教室」の始まり

**荒川会長** 光星学院高等学校(現八戸学院光星高等学校。以下「光星高校」)が夏の甲子園で準優勝した平成24年、甲子園のヒーローたちから直接指導してもらえたら、地区の子どもたちはどんなに喜ぶだろうかと思い、知人であった仲井監督にお願いしたところ、快く引き受けていただきました。今年で3回目となります。

### ○「少年野球教室」の内容

**武部会長** 野球教室は、毎年10月下旬頃、白銀小学校、白鷗小学校、白銀南小学校の野球部の児童を対象に、光星高校野球部の3年生を招いて行います。技術指導のほか、高校生の投げたボールを打ち返したらボールをプレゼントするゲームがあったり、児童から先輩への質問タイムでは、県外から来ている選手に「寂しくないですか?」という質問が出たり、楽しく交流を深めています。

### ○今後について

**武部会長** 地域の3つの小学校の児童が、甲子園で活躍した憧れの先輩に直接野球を教えてもらえるということは、子どもたちの夢を育むよい機会になっていると感じます。子どもたちの健全育成のため、これからも続けていきたいと考えています。また、高野連の指導により、高校生による野球教室は小学生までにしかできないことになっていますが、今後は、中学生と大学野球部の交流についても考えていきたいと思っています。

### 【福祉パレードについて(荒川会長より)】

この地区には学校が多く、白銀地区社会福祉協議会が行う福祉パレードには、光星高校、八戸工大一高、八戸北高校、八戸水産高校、白銀中学校、3つの小学校からブラスバンドなどの参加があります。350人位でパレードし、「福祉のまち白銀」をPRしています。他の地区ではなかなかできないことだと思いますので、これも地域の自慢の一つです。